

ネットワークを通じて、
世の中に“わっ”を提供する

アミューズメントオンライン事業

アミューズメントモバイル事業

au one
おこづかい



Uchico



予想ネットモバイル



ガールズデコ

ネットワークを通じて、 世の中に“わっ!!”を提供する



アミューズメントオンライン事業

PC領域において、オンラインのパチスロ・パチンコゲームを中心としたサービスを展開しております。



アミューズメントモバイル事業

モバイル領域において、パチスロ・パチンコゲームや各種コンテンツの配信サービスを展開しております。



ポイントメディア事業

インターネット上でユーザーが各種サービスを利用することでポイントを獲得し増やすことのできるポイントサービスを運営しております。



モバイルコンテンツ事業

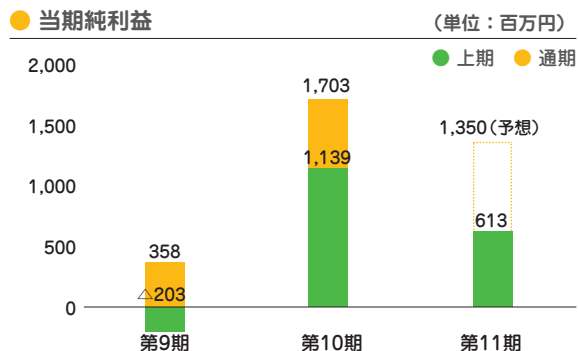
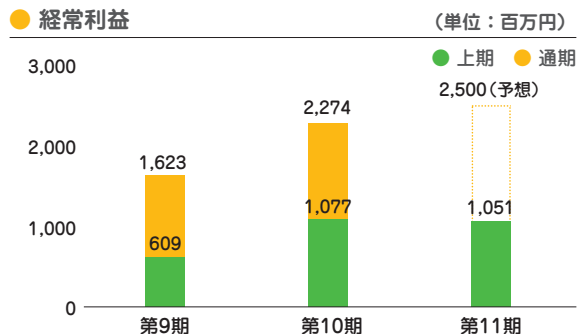
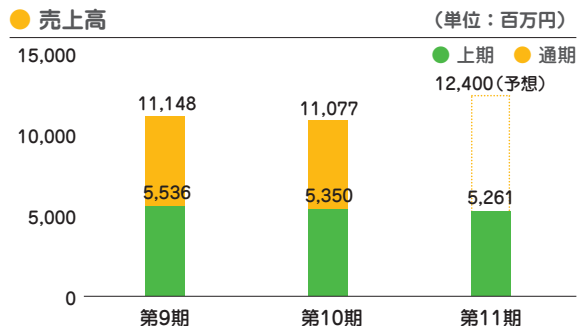
主にモバイル領域において、着メロ等の音楽サービスやメール関連サービスを展開しております。



ソリューション事業

各種コンテンツやWeb関連システム等の企画から開発・運営まで一貫したサービスを提供しております。

決算ハイライト



“第2の創業期の2年目”(Hop・Step・Jump) 次の飛躍に備え、 収益基盤をより一層強化するとともに、 新しいサービスを軌道に乗せる。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)におきましては、“第二の創業期”と掲げ、経営のベースであり収益基盤でもある「コア事業(アミューズメント事業)」をさらに固め、その上で来期・再来期といった将来に向けた新サービスによる収益基盤の確立を目指し、以下の3つの重点課題に取り組んでまいりました。

①「予想ネットモバイル」を飛躍させ、事業の3本柱を確立する。

主婦・学生・おこづかい制のサラリーマンをメインターゲットとして、「ひまつぶし」、「おこづかい稼ぎ」の2大キーコンセプトをもった、KDDIグループとの協業による携帯向け無料公式サイト「au oneおこづかい」を2008年10月にサービスを開始して以来、約1年経過した2009年9月時点では、会員数100万人を突破するまでに成長いたしました。今後もKDDI社との協業という強みを活かし、更なる会員拡大を図りつつ、コミュニティやゲームの充実化も図り、お客様にもっと楽しんでいただけるサイト作りに注力してまいります。

②コア事業の更なる成長を図る。

PC向け「777タウンドットネット」は、遊べるパチンコ・パチスロゲームが100機種を超え、さらに「麻雀」・「カジノ」に次ぐ「ゲーセン」の投入など、従量課金コンテンツの充実にも努めてまいりました。

携帯電話向け「サミー777タウン」は、PC向け「777タウンドットネット」で培った従量課金を導入し、収益拡大を図ってまいりました。

③新たなサービスを来期事業化できる目処をつける。

エデュテイメント分野ときせかえ分野による来期に向けた新たな収益基盤の確立を目指し、エデュテイメント分野では中高生をターゲットにした無料コミュニティサイト「uchico」を展開し、9月末時点で会員数50万人以上を獲得、きせかえ分野では10代後半から20代の“特徴のある女性”をターゲッ



トに4つのサイトを展開して9月末時点で会員数約50万人を獲得しました。

その結果、当第2四半期累計期間は、連結売上高52億61百万円(対前年同期1.7%減)、経常利益10億51百万円(対前年同期2.4%減)となりました。

今後につきましては、引き続き3つの重点課題に注力し、来期大きく羽ばたけるよう(Jump)、邁進してまいります。

株主の皆様への利益還元方針としましては、「連結配当性向20%」を目安として、更なる業績の拡大とともに一層充実した利益還元ができるよう努力いたします。

株主の皆様におかれましては、長期的な視点で当社の成長力にご期待いただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **大野 政 昭**

サミーネットワークスの今後を担う
新しいサービスにファークスし、
その最新情報をお届けいたします。



「au one おこづかい」「予想ネットmobile」

ポイントメディア事業

アミューズメントオンライン事業、アミューズメントモバイル事業に次ぐ来期の第3の柱として確立を目指している事業がポイントメディア事業の「予想ネットモバイル」です。

予想ネットモバイルは、Docomoとauで展開をしており、auでは「au one おこづかい」としてKDDIグループと協業で運営をしております。

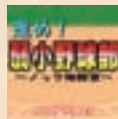
予想ネットモバイルとは、主婦・学生・おこづかい制のサラリーマンをメインターゲットとして、“ひまつぶし”と“おこづかい稼ぎ”をコンセプトにした、初の無料公式ポイントサイトです。

ビジネスモデルは、企業のアフィリエイト広告などによる広告収入モデルと、第3四半期より開始するアバターやアイテムなどの販売による従量課金モデルです。

会員数は、前期末比59万人増の116万人(2009年9月末)となり、会員数100万人を突破いたしました。

今後もこれまで順調に展開を進めてまいりましたKDDIグループとの協業プロモーションを引き続き進めて行くとともに、従量課金を本格的に開始してまいります。

※「au one おこづかい」はKDDI株式会社と株式会社リアラスの共同運営によるサービスです。



ケータイ代を稼ごう!

クイズやゲームで遊び、
ケータイでおこづかいをためるサイト

おこづかいGET!



交換

ケータイ代を
ケータイで稼ぐ!!

交換

ケータイ代を
ケータイで稼ぐ!!

ポイントなどをためて…

ふやす

ポイントをふやして…



アンケート



応募申込



ショッピング

etc



ゲーム



クイズ

etc

新規事業 エデュテイメント*分野

※教育(エデュケーション)と
娯楽(エンターテイメント)
の造語です。



uchico



事業の第4、第5の柱となるべく生まれた事業が中学生・高校生をターゲットとしたエデュテイメント事業です。

「uchico」は中高生をターゲットに「励ましあい、教え合って、遊びながら勉強する」ことをコンセプトとして生まれました。

コンテンツのメニューには、テスト対策、模試、塾などのほかにユーザー参加型のコミュニティや掲示板、ケータイコンテンツ初心者に対して、ネットマナーや注意点を啓発する「こころ部」などがあります。

コンテンツは無料で提供しており、収入モデルは企業とのタイアップ広告や学校情報などのB to Bによる広告収入モデルです。

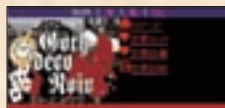
会員数は中高生を中心に会員数57万人(2009年9月末)を獲得いたしました。

今後もコミュニティの充実を図り、将来的に“中学生”“高校生”の携帯コンテンツと言ったら、「uchico」となれるようなブランドの確立を目指してまいります。



新規事業 きせかえ*分野

※携帯電話のメニュー画面
のアイコンなどがカスタ
マイズできるサービス。



ガールズデコ

「ガールズデコ」は10代後半から20代の姫系、小悪魔系、ギャル系、ゴスロリ系などと呼ばれる“特徴のある女性”をターゲットにしたケータイコンテンツをデコレーションするツールなどを提供するサイトです。

4つのサイトがありますが、各々特徴があります。

- ①「姫デコJewel」は、ピンクを好むお姫様系
- ②「黒デコglam」は、黒や紫を好む小悪魔系
- ③「Gal deco Lush」は、ギャル系
- ④「Goth deco Noir (ノアール)」は、黒や白を基調とした“ふりふり”ファッション系

こういった、“特徴のある女性”をターゲットとしております。

会員登録は無料で、収入モデルは恋愛コミックや恋愛ゲームなどの販売による従量課金モデルです。

会員数は49万人(2009年9月末)を獲得いたしました。

今後も引き続き会員数の獲得に注力し、100万人の獲得を目指します。

○ 全般の概況

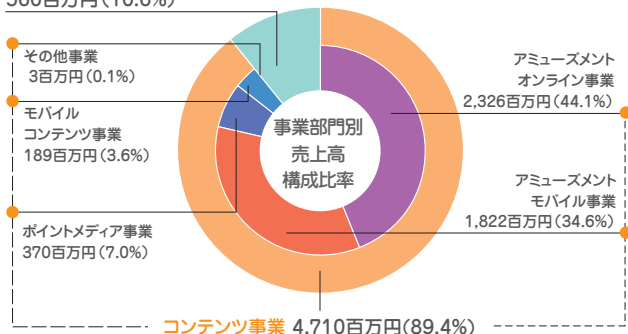
当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出関連の一部に回復の動きが見られることや、企業収益の減少幅が緩やかになっていることなど、景気に底打ちの兆しが見られたものの、全体的には生産活動が極めて低水準にあることや、失業率が過去最高水準になるなど、景気は未だ厳しい状況で推移しております。

当社グループを取り巻く環境としましては、日本国内におけるFTTH(光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービス)、DSL(デジタル加入者線)等の主要なブロードバンド契約数が平成21年6月末で3,092万件(前期末比2.0%増)と堅調に推移しております。(※1)

また、日本国内における携帯電話等の加入者数は、平成21年9月末時点で11,406万件(前期末比1.8%増)であり、そのうちインターネット接続が可能な携帯電話の加入者数は10,963万件(前期末比2.0%増)と携帯電話機等の96.1%を占めており、PC・携帯電話ともにインターネットの普及率は微増ながらも堅調に推移しております。(※2)

このような状況のもと当社グループでは、当期の重点課題と掲げる、①「予想ネットモバイル」を飛躍させ、事業の3本柱を確立する。②コア事業の更なる成長を図る。③新たなサービスを来期事業化できる目処をつける。に注力し、事業活動を行ってまいりました。

ソリューション事業 560百万円(10.6%)



以上の結果、当第2四半期における連結業績は、売上高52億61百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益10億45百万円(前年同期比0.6%減)、経常利益10億51百万円(前年同期比2.4%減)、四半期純利益6億13百万円(前年同期比46.2%減)となりました。

なお、平成21年3月期第2四半期連結累計期間の四半期純利益につきましては、セガサミーメディア(株)を吸収合併したことによる税務上の繰越欠損金の継承に伴う法人税等の減少額6億52百万円を含んでおります。

○ セグメント別の概況

コンテンツ事業

● アミューズメントオンライン事業

PC向けパチスロ・パチンコオンラインゲーム「777タウンドットネット」において、ゲーム内で利用できるアバターやアイテム、麻雀・カジノ・ゲームセンターといった従量課金コンテンツが好調に推移しました。



この結果、アミューズメントオンライン事業の売上高は23億26百万円(前年同期比18.6%増)となりました。

● アミューズメントモバイル事業

携帯電話向けパチスロ・パチンコゲームサイト「サミー777タウン」においては、依然として携帯電話のパチスロ・パチンコカテゴリー全体の会員数の減少傾向に変化はなく、当該サービスにおいても会員数を減少させることとなりました。

また、新しいビジネスモデルの導入としてPC向け「777タウンドットネット」で培った「従量課金サービス」を



開始しました。

この結果、アミューズメント事業の売上高は18億22百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

● ポイントメディア事業

「予想ネットモバイル」は昨年7月のサービス立ち上げから約1年で、会員数が100万人を突破しました。

主にはKDDIグループとの協業サイト「au oneおこづかい」において、会員拡大を図るべく積極的なプロモーションを進めるとともに、ユーザー満足度の向上および従量課金開始のための準備としてゲームならびに掲示板機能の拡充等、サイトの活性化に注力してまいりました。しかしながら、当第2四半期中に予定しておりました従量課金の開始は、システム運用会社の変更により遅延しております。従量課金の本格的な開始は第3四半期中を予定しております。

この結果、ポイントメディア事業の売上高は3億70百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

※「au one おこづかい」はKDDI株式会社と株式会社リアラスの共同運営によるサービスです。



● モバイルコンテンツ事業

モバイルコンテンツ事業においては、着信メロディサービス「プラチナメロディ」を中心とする携帯電話向けサービスでは、着信メロディ市場全体が縮小傾向にある厳しい環境の中、当社サービスにおいても会員を減少させることとなりました。

この結果、モバイルコンテンツ事業の売上高は1億89百万円(前年同期比23.2%減)となりました。



● 新規事業

新規事業につきましては、エデュテイメント分野ときせかえ分野の2分野で展開しております。

まずエデュテイメント分野では、中学生・高校生向け携帯電話無料サービス「uchico」において携帯電話を所有する全国の中高生(推定500万人(※3))を中心に57万人を獲得しました。また、来期事業化に向けてBto Bモデル(※4)での営業活動(企業とのタイアップ広告、学校情報広告等)を開始しました。

次にきせかえ分野では、10代後半から20代の女性向け携帯電話無料サービス「姫デコJewel」(4月)の立ち上げに続き、「黒デコGlam」、「Gal deco Lush」、「Goth deco Noir」を順次立ち上げ、10代後半から20代の“特徴のある女性”を中心に49万人を獲得しました。来期事業化に向けてBto Cモデル(※5)により、「恋愛コミック」や「恋愛診断・セラピー」等の従量課金を開始しました。

コンテンツ事業の売上高としましては、47億10百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益11億51百万円(前年同期比5.4%増)となりました。



ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、IT関連産業を取り巻く環境悪化の中、引き続きシステム開発の受注の確保に努めてまいりました。

この結果、ソリューション事業の売上高は5億60百万円(前年同期比39.4%減)、営業損失1億6百万円(前年同期は営業損失42百万円)となりました。

- (※1) 総務省調べ
- (※2) 社団法人電気通信事業者協会調べ
- (※3) 当社調べ
- (※4) 企業間の取引
- (※5) 企業と消費者間の取引

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期末 2009年9月30日現在	前期末 2009年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	9,058,431	8,920,550
現金及び預金	6,408,817	6,041,380
売掛金	2,171,994	2,410,680
商品	24,871	16,047
繰延税金資産	85,425	121,307
その他	367,324	331,133
固定資産	3,068,979	3,250,305
有形固定資産	140,436	160,492
無形固定資産	1,971,475	2,142,578
投資その他の資産	957,067	947,233
資産合計	12,127,411	12,170,855
● 負債の部		
流動負債	1,909,362	2,305,221
買掛金	597,594	747,414
未払金	350,106	289,721
未払法人税等	490,068	680,403
賞与引当金	103,013	135,991
役員賞与引当金	40,000	120,000
その他	328,581	331,692
固定負債	270,351	256,510
負債合計	2,179,713	2,561,731
● 純資産の部		
株主資本	9,947,703	9,599,091
資本金	2,330,275	2,330,275
資本剰余金	2,974,810	2,974,810
利益剰余金	5,395,719	5,047,108
自己株式	△753,103	△753,103
評価・換算差額等	△5	△4,973
少数株主持分	—	15,005
純資産合計	9,947,698	9,609,123
負債純資産合計	12,127,411	12,170,855

● Check Point

● 資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、121億27百万円となりました。その主な増減は、現金及び預金の増加3億67百万円、売掛金の減少2億38百万円、のれんの減少1億98百万円などでありました。

● Check Point

● 負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少し、21億79百万円となりました。その主な増減は、未払法人税等の減少1億90百万円、買掛金の減少1億49百万円などでありました。

● Check Point

● 純資産の部

純資産合計は、3億38百万円増加し、99億47百万円となり、自己資本比率は3.2ポイント増加し82.0%となりました。

○ 連結損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当第2四半期 (累計) 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで
売上高	5,261,541	5,350,291
売上原価	2,632,423	2,799,619
売上総利益	2,629,117	2,550,672
販売費及び一般管理費	1,583,579	1,498,942
営業利益	1,045,538	1,051,729
営業外収益	9,277	39,117
営業外費用	3,309	13,058
経常利益	1,051,505	1,077,788
特別利益	20,857	840
特別損失	7,320	49,013
税金等調整前四半期純利益	1,065,041	1,029,615
法人税、住民税及び事業税	471,290	3,527
法人税等調整額	△4,358	△123,851
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△15,005	9,971
四半期純利益	613,115	1,139,967

Check Point

● 売上高

当第2四半期連結累計期間における連結売上高は、前年同期比1.7%減の52億61百万円となりました。前年同期比ではほぼ横ばいとなりました。

Check Point

● 経常利益

当第2四半期連結累計期間における連結経常利益は、前年同期比2.4%減の10億51百万円となりました。前年同期比では、売上高同様にほぼ横ばいとなりました。

○ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

科 目	当第2四半期 (累計) 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2008年4月 1日から 2008年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027,391	2,216,513
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,868	△1,240,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△266,076	△115,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△291
現金及び現金同等物の増加額	367,436	860,361
現金及び現金同等物の期首残高	2,041,380	3,188,004
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△584
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,408,817	4,047,781

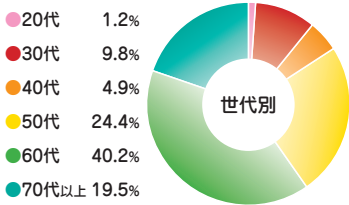
Check Point

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円増加し、24億8百万円となりました。

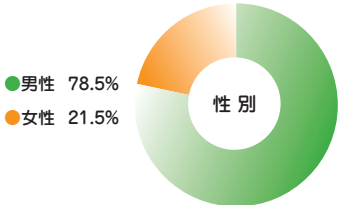
アンケートのご報告

前回の報告書にて実施いたしました「株主アンケート」の集計結果が整いましたので、主なデータにつきご報告いたします。アンケートに際しましては、多くの皆様のご協力を賜りましたことを、感謝申し上げます。

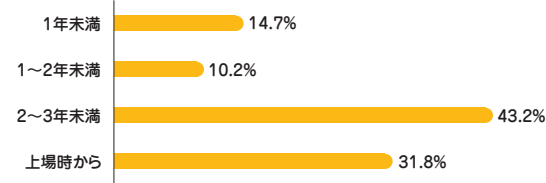
アンケート回答者様の世代別内訳



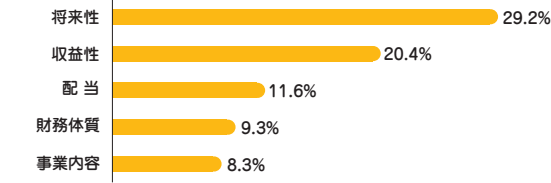
アンケート回答者様の性別内訳



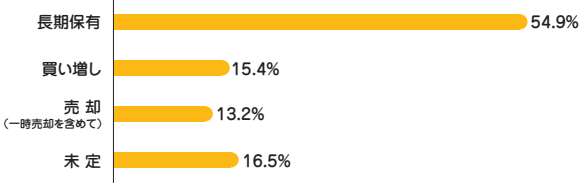
Q 当社株式保有期間



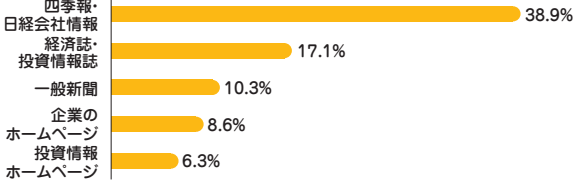
Q 当社株式購入理由（複数回答・上位5位）



Q 保有する当社株式の今後の方針



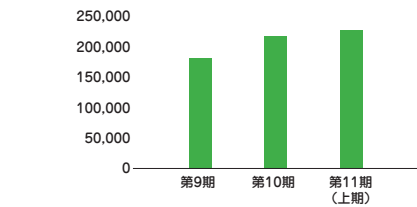
Q 参考とする投資情報（複数回答・上位5位）



一株当たり情報

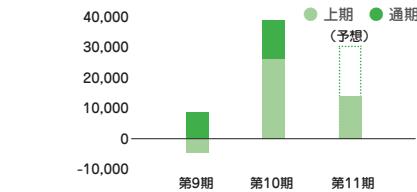
一株当たり純資産

（単位：円）



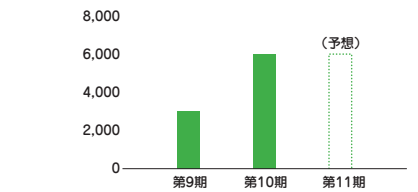
一株当たり当期純利益

（単位：円）



一株当たり配当額

（単位：円）



● 株式情報 (2009年9月30日現在)

● 株式の状況

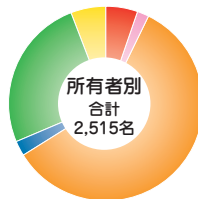
発行可能株式総数	120,000株
発行済株式総数	45,306株
株主数	2,515名

● 大株主

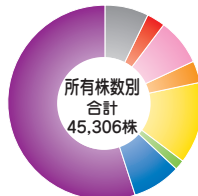
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス株式会社	24,804	54.75
大野 政昭	1,372	3.03
株式会社サミーネットワークス	1,222	2.70
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,064	2.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	777	1.72
倉垣 英男	432	0.95
株式会社ドコモ・ドットコム	420	0.93
森 貴義	400	0.88
メロンバンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	400	0.88
日本証券金融株式会社	341	0.75

● 株式分布状況

● 金融機関	5.35%
● 金融商品取引業者	2.00%
● その他の法人	58.82%
● 自己名義株式	2.70%
● 個人・その他	25.50%
● 外国人等	5.63%



● 1株以上	7.48%
● 5株以上	2.97%
● 10株以上	7.86%
● 50株以上	3.53%
● 100株以上	13.63%
● 500株以上	1.72%
● 1,000株以上	0.07%
● 10,000株以上	54.75%



● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	中間配当を行う場合は9月30日 毎年6月
定時株主総会	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
特別口座管理機関	東京証券取引所
同連絡先	http://www.sammy-net.jp/announcement.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)
上場取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	

お知らせ

1. 株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりましたので、各口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 支払期間経過後の未受領の配当金のご照会につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までお問合せください。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

○ 会社概要 (2009年9月30日現在)

● 会社情報

● 会社名	株式会社サミーネットワークス Sammy NetWorks Co., Ltd.
● 本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山3丁目1番31号 NBF南青山ビル3階
● 設 立	2000年3月1日
● 資本金	23億30百万円
● 事業内容	携帯電話、PCへのゲーム関連コンテンツ、音楽関連コンテンツの配信サービス、インターネット広告事業、Eコマースおよびシステム開発事業
● 監査法人	あずさ監査法人
● 従業員数	連結196名、単体130名

● 役員

取締役会長	里見 治	執行役員	倉垣 英男
代表取締役社長	大野 政昭	執行役員	佐藤 慎吾
取締役副社長	崎野 清文	執行役員	小口 剛
専務取締役	石倉 博	執行役員	三井 友樹
取締役	大山 太郎		
取締役	西田 浩		
常勤監査役	河村 芳隆		
監査役	榎本 峰夫		
監査役	嘉指 富雄		

● 主な連結子会社

株式会社リアラス

株式会社メディア・トラスト

ホームページのご案内



サミーネットワークスに関する詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。または、IRメールにて最新情報を配信しております。ぜひ、この機会にご登録ください。

● ホームページアドレス
<http://www.sammy-net.jp>

● IRメール配信
<http://www.sammy-net.jp/ir/mail/>

©2005 BONES/Project EUREKA・MBS
©Sammy ©2009 NBGI
©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
©NSP 2007 著作権許諾証GT-706.
©Sammy

今後の見通しに関する注意事項

本誌の記載内容のうち、当社の将来に関する見通しおよび計画などの歴史的事実でないものについては将来予測であり、現在入手可能な情報から得られた会社の判断に基づいています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。

※ 本冊子は環境に配慮し、再生紙と大豆油インクを使用しています。